

事業コード	05030605		政策コード	05	政策名	誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略						
事業名	由利本荘・にかほ地域医療構想加速化推進事業		施策コード	03	施策名	医療ニーズに対応した医療提供体制の整備						
部局名	健康福祉部	課室名	医務薬事課	班名	調整・医療計画班	(tel)	1401	担当課長名	石川修	担当者名	中山英樹	
評価対象事業(計画)の内容										事業年度	令和02年度～令和03年度	
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、医療機能の分化・連携を推進するため、平成28年10月に「秋田県地域医療構想」を策定した。地域医療構想の達成には、今後の医療需要を見据え、地域で必要な医療提供体制について議論されることが前提となっており、各地域での地域医療構想調整会議で協議を行っている。協議で必要と認められたものについては、医療介護総合確保基金を活用し、必要な施設等の整備を図る。										3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 金病院が由利本荘・にかほ地域の将来の医療需要を見据え、有床診療所にダウンサイ징した上で、地域に必要な医療を提供するための体制を構築する。		
										(重点施策推進方針との関係)	重点事業として要望	その他事業として要望
2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: H28年10月) ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に ) ニーズの具体的内容 今後の医療需要を見据え、地域で必要な医療提供体制に関する整備が求められている。										4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 医療機関 達成のための手段 病床削減などのダウンサイ징や医療機能の転換等を伴う、医療機関の施設整備等に対して、地域医療介護総合確保基金を活用し、支援する。		
										比較した代替手段及び選択した手段の有効性 地域医療構想の達成に向けては、地域医療介護総合確保基金を施設又は設備に関する事業に活用することが基本事項として定められているため、代替手段はなく、有効性は高い。		
把握していない場合の理由及び今後の方針 理由 今後の方針												
5. 事業の全体計画及び財源										単位(千円)		
順位	事業内訳	左の説明		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画		
01	由利本荘・にかほ地域医療構想加速化推進事業	地域に必要な医療機関等の建替等の施設整備に対して支援する。		51,690	84,460	0	0	0	0	136,150		
財源内訳		左の説明		51,690	84,460	0	0	0	0	136,150		
国庫補助金				0	0	0	0	0	0	0		
県債				0	0	0	0	0	0	0		
その他		地域医療介護総合確保基金		51,690	84,460	0	0	0	0	136,150		
一般財源				0	0	0	0	0	0	0		

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み									
事業の期待される成果		地域に必要とされる医療提供体制を構築する。							
指標	指標名				指標の種類				
	指標式				成果指標 業績指標				
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北								
	全国								
把握する時期		当該年度中	月	翌年度	月	翌々年度	月		
指標	指標名				指標の種類				
	指標式				成果指標 業績指標				
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北								
	全国								
把握する時期		当該年度中	月	翌年度	月	翌々年度	月		
指標を設定することができない場合の効果の把握方法									
指標を設定することができない理由									
金病院が地域に必要な医療提供を行うための事業であるため、指標を設定することはなじまない。									
見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									
事業の必要性									
事業の必要性	現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性								
	今後、急速な高齢化・人口減少が進む中で医療需要が低減していくことから、医療機能の分化・連携を図ることが不可欠になっている。								
	住民ニーズに照らした事業の必要性								
	高齢化・人口減少が進む中でも、医療機関として、住民にとって必要な医療が提供されることが求められている。								
事業の県関与の必要性	事業の県関与の必要性								
	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの								
	医療提供体制について全県的な視点を持って取り組む必要性がある事業であることから、県として事業を推進する。								
政策評価委員会意見							重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定		
							重点事業 その他		